

韓国から日本を眺める

—東アジア的視点からみた韓国と日本—



河 宇鳳 (HA WOO BONG)

韓国・全北大学校名誉教授

韓国実学学会会長

専攻は朝鮮時代韓日関係史と実学思想史。特に近世の朝鮮と日本の文化交流や比較思想史を研究している。最近は海洋史学に深い関心を持ち、研究対象を日本のみならず琉球、東南アジアなどに広げている。

『朝鮮実学者の見た近世日本』(ペリカン社)、『朝鮮王朝時代の世界観と日本認識』(明石書店)、『朝鮮と琉球』(榕樹書林)など著書多数。

Outline :

15～19世紀の朝鮮半島にとって日本とはどのような存在だったのか？

韓日関係史、韓日交流史、海洋史学の成果をもとに、三つのテーマから接近を試み、重層的な韓国と日本の関係を東アジア的視点で捉え直す。

Session 1:

通信使行の東アジア文化史的意義

Session 2:

朝鮮と琉球の文物交流

Session 3:

シーボルト、朝鮮漂流民、長崎

※講義は日本語で行われます

日時 : 2018年3月28日(水)、29日(木)、30日(金) 14:00～16:00

場所 : 文学部 法文1号館 2階 215番教室

問い合わせ : 韓国朝鮮文化研究室 Tel 03-5841-3636 E-mail korea@l.u-tokyo.ac.jp
研究室ホームページ <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~korea/>